

自分に合った一級建築士試験対策



取得した資格：一級建築士
資格取得年度：令和元年度

よし むら つとむ
吉 村 務*

自分のスタイルで

私は令和元年度の一級建築士試験に合格しました。就職した当初は、公務員という仕事柄を考えると、必須の資格ではないと考えていました。しかし、設計事務所やコンサルタントの方々と関わるようになると、知識の差を感じることもあり、徐々に気持ちが傾いていきました。モヤモヤしたまま数年が過ぎましたが、やはり取得してスッキリしたい意向が強くなり、受験を決意しました。

決意したのは良いものの、仕事や子育てをしながらの勉強に慣れておらず、始めは中々手に付きませんでした。しかし、受験される方の多くは社会人であり、時間の確保が難しい中で挑戦されています。言い訳はたくさん浮かんできましたが、大変なのは自分だけではないと戒め、自分の生活スタイルを顧みながら、勉強時間の捻出と効率的な学習方法を考え直しました。今回の経験は、合格という結果だけではなく、学習方法に試行錯誤した過程もとても良い経験になりました。以下では、一次試験（学科試験）、二次試験（設計製図試験）のそれぞれの対策において、具体的に工夫した点、心がけた点をお話しします。受験者それぞれの生活スタイルがあり、それぞれに適した学習方法があると思いますので、一例としてご参考いただければと思います。

スキマ時間まで突き詰める

一次試験の対策は、基本的に参考書と過去問を使い、覚えて、問題を解いての繰り返しでした。ただし、椅子に座って問題を解く時間はあまり確保できなかったため、通勤時間や昼休みを利用して、少しでも進めることを心がけました。また、買い物の合

間やトイレなど、さらに短い時間でも学習に活かせるように、スマートフォンのアプリやWEBサイトで問題を解いたり、用語の復習をしたりしました。特にアプリは、1問だけ復習したいときなど、1、2分でも学習できるため、重宝していました。一次試験は足切り点があるため、確実に目標点をとれるまで、ひたすら問題数をこなすことを心がけました。

また、一次試験で出題される5分野（計画、環境、法規、構造、施工）のうち、個人的に最も苦労したのは「施工」です。施工現場に直接関わった経験がないため、出題内容を具体的に想像できませんでした。そのため、問題を何度も解いても身につかず、伸び悩み時期がありました。重点的に対策するため、図解の多い本を読んだり、実際の現場施工例をWEBサイトで調べたりすることで、文字だけでは理解しにくい情報を補填しました。これらもスキマ時間でできる対策です。私の場合は「施工」でしたが、苦手な教科があれば、なぜ伸びないかを顧みて、重点的に対策することは有効だと思います。

ひきこもり製図対策

一次試験終了から約一ヶ月後に合格発表、さらに約一ヶ月後に二次試験という日程ですが、自己採点でおよその可否を予測できるため、一次試験終了後すぐに予備校の申し込みなどが始まります。そのため、二次試験をどのように対策するか、一次試験終了後すぐに判断する必要があります。予備校に通って対策される方も多いですが、私は通学する時間の確保が難しいと考え、自宅で学習することに決めました。他の受験者の状況は全く見えませんが、翻って考えれば、周りを気にせずひたすら自分の腕を磨

*国土交通省 北陸地方整備局 営繕部計画課 営繕技術専門官

ける点はメリットだと思います。主な学習方法は、練習課題を作図し、解答例と照らし合わせ、書き切れていない部分を確認することを繰り返していました。始めは慣れていないため、時間がかかり、書き漏れも多いですが、徐々にポイントを理解して描けるようになりました。試験日まで可能な限り多くの練習をして、作図の早さと解答の精度を上げることを意識しました。

また、製図は製図板などの道具が必要となり、練習できる場所が限られるため、さらにスキマ時間を活かすことはできないか考えました。出題の中には、作図のほか、設計において工夫した点を解答する問題があるのですが、A3用紙1枚分もあるため、毎回一から考えて解答すると、かなり時間を要します。そこで、可能な限り出題されそうな内容をパターン化し、頭の中に抽斗を作っておいて、何を聞かれても反射的に解答できるような対策をしました。文言を覚えて復唱することは、スキマ時間でも可能です。私は作図前の検討（エスキス）に時間をかけてしまいがちでしたが、この対策により、苦手な部分に時間を割くことができました。

最後の最後まで

以上のように、自分の身の丈を考えながら対策を

考えて、試験に臨みました。合格する方々は、それぞれ対策方法も異なりますので、自分にどのような方法が合っているか、まずは情報収集することが大切だと思います。

一方で、どれだけ対策しても予想外の事態が生じることがあります。私の場合、製図試験の終盤、最後に断面図を仕上げようと思った矢先、残り50分と思っていて試験時間が勘違いで残り20分しかないことに気がつきました。練習では20分以内に断面図を仕上げられたことがなかったため、顔面蒼白でした。1つでも図面が不足していると、その時点で不合格となるため、とにかく描くしかないと覚悟を決め、そこからは夢中で手を動かして作図しました。試験終了の号令がかかる直前までペンを動かしながら続けていましたが、何とか最低限の図面を描き上げることができました。

試験時間を勘違いしたことは大いに反省していますが、これまで1枚1枚作図練習した積み重ねが生きた瞬間とも思っております。これから受験される方も、どのような場面でも必ず最後まで諦めずに頑張ってください。どのような学習方法でも、ご自身が納得できるだけの努力をすれば、必ず実を結ぶものと信じております。

【著者紹介】 吉村 務 (よしむら つとむ)

平成26年度国土交通省入省。近畿地方整備局営繕部、本省大臣官房技術調査課、本省大臣官房官庁営繕部計画課を経て、現職。営繕工事の計画、予算等の職務に従事。

Dr.クマの“健康のヒント”

標準治療のすすめ

友人からがんが発見されたとの連絡があった。自宅からアクセスの良い総合病院で検査を進め、標準治療を行う予定とのことだ。賢い選択である。がんの3大療法は、手術、放射線、化学療法である。この3者を選択、あるいは組み合わせ、保険診療内で最善と思われる治療をすすめていくのが標準治療と呼ばれる。標準という言葉に反応して、もっと良い治療があるならばそちらにしたいと言われる方もあるが、標準治療より良い治療は「ない」のである。具体的に列記するのははばかれるが、標準治療を越えた夢のように効く治療法、代替治療とも呼ばれる方法がネットや書籍で宣伝されているのをみかける。これらのほとんどはインチキである。人間は望

むことを信じたい動物で「がんが消える」という言葉を信じたいくなる。しかし、標準治療は松竹梅の竹ではなく、最善の治療法であり、これを越えると証明された代替治療はない。クリニックなどで行われる代替療法でも、免疫力アップ、体に優しい、自然治癒力、がんが消える、などの言葉で飾られたものは、ほとんどが高額な自費診療であり、一度疑ってみる必要がある。標準治療を行いながらであれば、たとえばサプリをとることを目くじら立てて止めるつもりはないが、代替治療だけに頼ることは危険である。

北里大学医学部 教授 熊谷 雄治